

平成 25 年 6 月 8 日

# 財団法人美術文化振興協会

## 平成 24 年度 事業報告

平成 24 年度の事業報告については下記の通りです。決算は別紙予算書をご参照ください。

記

### I : 「美術文化に関する国際交流」事業

#### [1] 《ジャパニーズ・アート・プログラム(Japanese Art Program)》

ライデン大学との共同事業である「ジャパニーズ・アート・プログラム」に関し、これまで5カ年計画で派遣事業を実施し、平成 17 年より 5 回の講座を行いました。平成 24 年度から事業を再開し、本年度は齊藤典彦教授（東京藝術大学 日本画）を派遣させていただき、「日本画」講座を下記の通り実施しました。この実施にあたり、キャノン財団ヨーロッパ、ライデン大学地域研究所（LIAS）から助成を頂きました。

#### <開催概要>

ジャパニーズ・アート・プログラム『日本画の線と色』

講師：齊藤典彦教授（東京藝術大学 日本画）

日時：平成 24 年 9 月 14 日（金）～28 日（金）全 5 回

9 月 14 日（金）イントロダクション「日本画について」（エバ・マホトカ博士）

18 日（火）日本画の線 1：線の成り立ち

21 日（金）日本画の線 2：輪郭と線

25 日（火）日本画の色 1：岩絵具

28 日（金）日本画の色 2：背景について

各日、2 コマ（9:00～11:00）の授業を開催、授業の冒頭に講義と実技の説明を行った後、実技を実施しました。

#### [2] 《ジャパニーズ・アート・セミナー(Japanese Art Seminar)》

国際交流基金の知的交流会議助成プログラムの助成を受け、学外に公開する「ジャパニーズ・アート・セミナー」を実施しました。また、国際交流基金の助成により報告誌を作成し、事業の成果を報告しました。今後の当財団の広報媒体としても活用していきます。

#### <開催概要>

日時：平成 24 年 9 月 29 日（土）14 時～17 時

会場：ライデン大学 Lipsius Building 028 講義室（講義）

日本博物館シーボルトハウス（レセプション）

講師：齊藤典彦教授（東京藝術大学 日本画）

共催：財団法人美術文化振興協会、ライデン大学

助成：国際交流基金 知的交流会議助成プログラム、キャノン財団ヨーロッパ

日本博物館シーボルトハウス、ライデン大学地域研究所（LIAS）

後援：在オランダ日本国大使館

協力：在ロッテルダム日本国名誉総領事館、Rotterdam-Japan Club、シーボルト会

参加：77名（学生・一般・ライデン大学関係者）

プログラム：14:00～14:10 開会挨拶＜イフォ・スミッツ教授／ライデン大学＞

14:10～14:15 講師紹介＜エバ・マホトカ博士／ライデン大学＞

14:15～15:30 講演＜齊藤典彦教授＞

『見ること、描くこと - アート、アーティストとは』

15:30～16:00 質疑応答

16:00～17:00 レセプション（日本博物館シーボルトハウス）

展示同時開催：ライデン大学東アジア図書館に日本画の画材や齊藤典彦教授の日本画作品、ジャパニーズ・アート・プログラムの学生作品を展示しました。

### 【3】 ジャパニーズ・アート・プログラム 作品展示

「ジャパニーズ・アート・プログラム」の授業で創作した学生作品は、齊藤典彦教授の掛軸や日本画材料と共に展示しました。

日程：平成24年9月17日（月）～29日（土） 齊藤典彦教授 掛軸2点展示

18日（火）～28日（金） 日本画材料展示（ショーケース内）

28日（金）～平成25年1月 学生作品展示「線と色」

会場：ライデン大学地域研究所内 東アジア図書館

### ◎ その他：ジャパニーズ・アート・プログラム／セミナー推進のための渡蘭

当プロジェクトに助成頂いたキャノン財団ヨーロッパの25周年記念行事（ハーグ）が開催され、当財団名誉会長・小和田恆先生による招待講演が行われました。この機会にキャノン財団から招待を受け、事務局長が渡蘭し、キャノン財団ヨーロッパの方々と交流しました。また、小和田名誉会長と共にライデン大学の関係者や在オランダ日本国大使館大使との会合を行い、今後のプロジェクトについて意見交換しました。

この渡蘭に際し、渡航費は理事長の呼びかけにより当財団の有志による寄付でご協力頂き、宿泊等はキャノン財団ヨーロッパから提供されました。

## II：公益法人改革に伴う法人変更

新公益法人制度改革に伴う組織改編及び移行申請に際し、当財団は「公益財団法人」へ移行することとし、「公益認定」の申請をするため、主に下記の準備を進めました。

- 「新定款」及び事業の実現性と具体的な内容の検討
- 「最初の評議員の選任方法」の決議→ 認可申請書の提出（文部科学省より認可）
- 電子申請開始のための申込

## III：財源確保のための活動

寄付の呼びかけのほか、事業に対する助成申請を実施しました。

以上